

事業所名

モンテッソーリ こどもの家

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		この法人は、発達において気になる乳幼児や発達に障害をもつ児童に対して、世界的に知られるルドルフ・シュタイナーとマリア・モンテッソーリの芸術・作業療法を施し、個々人の個性に基づく発達と自立を支援すると同時に、その保護者に対して育児や教育の相談・助言をおこなうことを目的とする。加えて、これらの実践と研究の成果に基づき、子どもの教育と大人自身の自己教育の在り方を模索する一般市民に対して広く啓蒙活動をおこない、子どもの健全育成及び地域福祉の推進に寄与することを目的とする。またこの法人は、障害者、障害児に対して、教育、療育及び児童福祉法に基づく障害児通所支援事業、障害児相談支援事業及び、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業などをおこない障害者福祉に寄与することを目的とする。							
支援方針		モンテッソーリ教育の理念を基に、子どもたちの個性や興味関心に応じた支援を行う。子どもたちが自分の思いを表現し、自ら考え、工夫し、創造する力を身につけていけるよう、子どもたちの自由で自発的な行動や活動を尊重した支援を行う。							
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり(場所や時間等は相談をお願いすることがあります)
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	こどもの心身の健康状態の把握に努め、一人一人に必要な対応の中で、身支度・持ち物準備・着脱・排泄・手洗い・おやつ・教具準備・片づけに関するプログラムを実施する。							
	運動・感覚	楽しんで身体を動かすことを大切に、一人一人の発達段階や必要な運動経験を通して、姿勢、身体づくり、（走る、歩く、ジャンプ、上り下り、滑る、ボール蹴り等）に関するプログラムを実施する。また、感覚特性に配慮した感覚あそび、感触あそび、手指操作、全身運動などを取り入れ、五感に働きかけます。							
	認知・行動	様々な遊びを通して、こども自身が感じ、新たな気づきを得られるような環境調整・関わりを提供する。身体部位・色・比較・位置・空間認知・分類・感情概念・文字・数・図形に関するプログラムを実施する。							
	言語 コミュニケーション	丁寧にやり取りを行い、こどもの伝えたいという気持ちを育みながら一人一人の状態にあわせて、非言語（身振り、指差し、サイン、ジェスチャー、絵カード、文字）・言語（2語文、3語文、名詞、動詞、形容詞、助詞など）・指示理解・要求表現・感情表現に関するプログラムを実施							
	人間関係 社会性	個別、または小集団の中で自分以外の人と関わる経験を重ねる。小さな成功体験や楽しさを繰り返し経験することで、自分、自分以外の人を信頼する気持ちや思いやる気持ちの育ちを支援する。集団スキル・地域生活・交通安全・社会的スキルに関するプログラムを実施							
家族支援		○児童の発達に関する相談、助言○支援内容に関する相談、助言○家庭生活に関する相談、助言○集団生活に関する相談、助言○きょうだい児に関する相談、助言○制度に関する相談、助言 以上の相談援助を対面にて実施				移行支援		○事業所で支援し、習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができることを目指した支援を行う○保育所（園）、幼稚園、学校などでの訪問や受け入れの際に行った会議などを通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を实地	
地域支援・地域連携		○地域社会の中で積極的に活動することを推進するため、地域の公園や施設を活用する				職員の質の向上		療育前後のミーティングやチーム会議の定期開催、研修参加などで、療育支援の質の向上を目指す	
主な行事等		○誕生会○夏まつりなど季節に合わせた行事を实地							